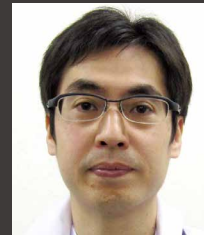


動画でわかる

# 耳垢・異物のとり方

梅木 寛 (梅木耳鼻咽喉科医院院長)

高橋優二 (井上病院総合内科)



本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

1. 耳垢・外耳道異物とは p2
2. 診察 p2
3. とり方 p5
4. 処置後 p9
5. 耳鼻咽喉科への紹介のタイミング p10

▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

# 1. 耳垢・外耳道異物とは

---

耳垢は外耳道の耳垢腺と皮脂腺の分泌物，剝離上皮，塵埃などが混じり合い形成される。耳垢により外耳道が閉塞した状態が耳垢栓塞と言われる。耳垢栓塞は自覚症状がない場合も多いが，入浴，水泳などで外耳道に水分が入って耳垢が膨張した時などに難聴や耳閉感が出現する。稀に感染を引き起こし外耳炎・中耳炎の原因となる<sup>1)</sup>。

外耳道異物は小児と成人では種類が異なる。小児では球形のものや玩具（BB弾，ビーズ，おもちゃの部品），消しゴム，紙などが多く，自ら外耳道に挿入して異物となる例が多くみられる<sup>2)</sup>。成人では昆虫（ガ，ゴキブリなど），耳掃除に使用した綿棒の綿や爪楊枝などが多い。稀に補聴器の耳栓（イヤーマールド）作製時に使用する印象材（シリコン）がある。

緊急性のない外耳道異物がほとんどであるが，刺激性の異物（昆虫，薬物など）の場合は緊急処置が必要となる。異物による症状は異物感，難聴，耳鳴，反射性咳嗽が主である。小豆などの豆類や種子などの植物性異物は吸湿して膨大し耳痛を起こし<sup>3)</sup>，昆虫は激痛や雑音が生じる可能性がある。

## 2. 診察

---

耳垢・異物の診察には最低限ヘッドライト（できればルーペ付き）（**図1**），耳鏡や鼻鏡（**図2**）が必要である。ルーペがあると対象が拡大され摘出が容易になる。

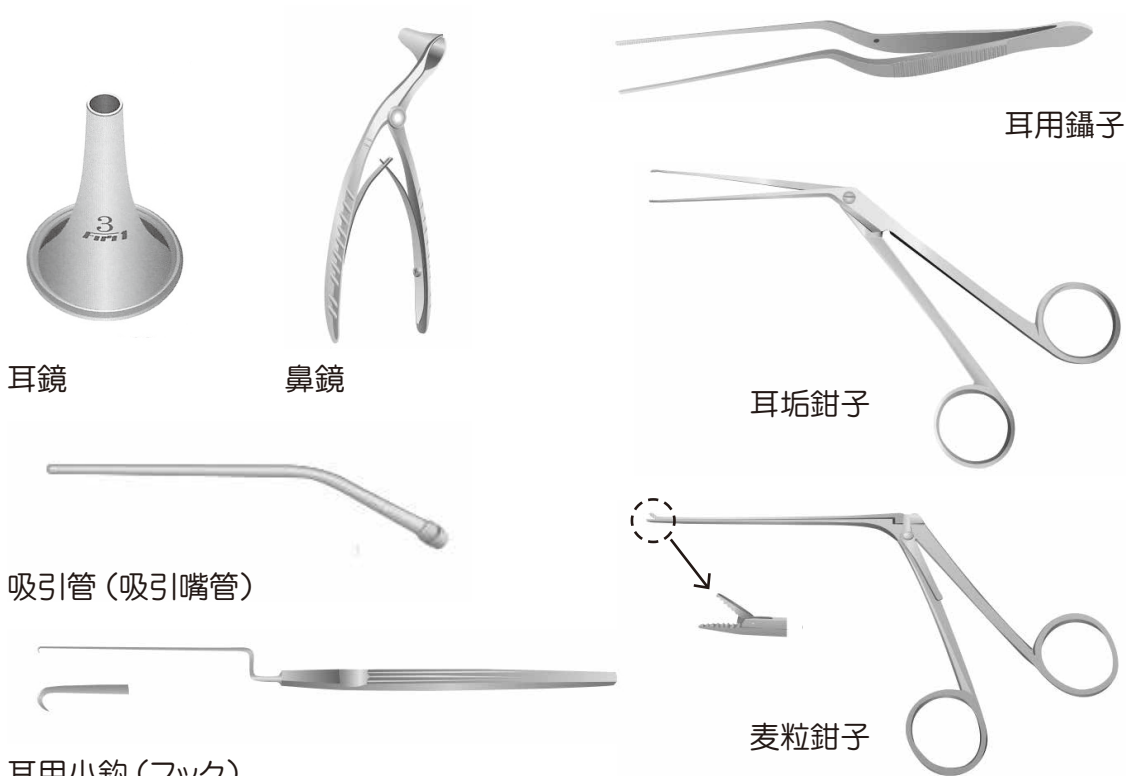


ルーペ付きヘッドライト  
〔ルミビュー™(近藤研究所)〕



LED光源ヘッドライト  
〔Dr.KIM™(ジオメディ)〕

図1 耳の診察器具



耳鏡

鼻鏡

耳用鑷子

耳垢鉗子

吸引管(吸引嘴管)

麦粒鉗子

耳用小鉤(フック)

図2 処置器具一覧

(第一医科カタログより引用)

外耳道は解剖学的に屈曲しており、そのままでは直視困難である。耳介を後方に牽引することによって、外耳道が真っ直ぐになるので観察しやすくなる(動画1)。幼児の外耳道は弯曲していないが、成人の外耳道においては、軟骨部が前下方に弯曲している。そのため耳鏡や鼻鏡挿入の際、成人では耳介を後上方に、乳幼児は耳介を後下方か下方に牽引する(図3)。



動画1 耳介牽引

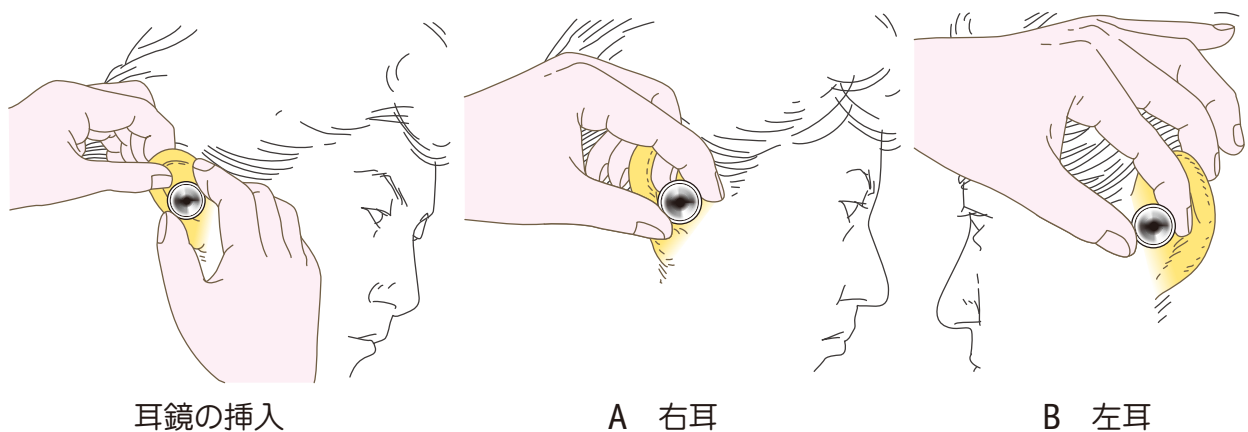


図3 耳鏡の挿入

(文献4より転載)

最初に耳垢や異物の材質，位置を確かめ，外耳道，鼓膜も可能な限り観察し，外耳道と耳垢・異物の間に隙間があるかを確認する。観察のみであれば耳介牽引のみでも耳垢・異物の観察は可能であるが，処置時には外耳道保護の観点から耳鏡や鼻鏡を用いると良い。対象が小さい耳垢・異物の場合は耳鏡で処置可能だが，対象が大きい場合は鼻鏡のほうがワーキングスペースを作りやすい(動画2)。